

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.3.25 No. 4364

貨物格差粉碎!

春闘第二波ストライキを闘いぬこう!

全支部から新小岩・佐倉支部へ

全ての組合員の皆さん!

幕張支部、津田沼支部を先頭とした三・二二春闘第一波ストの成功をうけて、息つく間もなく貨物格差粉碎の春闘第二波ストを闘いぬこう!

分割・民営化「一〇年目」を迎える今年九六年は、国鉄闘争の正念場中の正念場である。

政府・運輸省内でとりざたされている「平成九年度問題」の中で、清算事業団の累積債務二兆八兆円問題に次いで、「三島―貨物問題」「平成九年度問題」の大きな柱になっている。

とりわけ貨物問題は深刻になっている。「整備新幹線の基本スキーム」では、整備新幹線と並行する在来線はJRから切り離すことが前提となっており、そうなれば貨物ルートは寸断され、その犠牲はまたしても貨物職場に働く労働者に押しつけられることになるのである。

政治家の利権あさりや復活した整備新幹線計画の犠牲になるなど真つ平御免だ。

貨物会社は、三月二二日、九

六年度の「事業計画」を発表した。この中では、「『フレイト二一』計画の第一段階である緊急三ヶ年計画の仕上げの年」「一〇年目の節目の年」として、

徹底したコスト削減、作業体制の見直しによる、省力化、多能化の促進、組織見直しを含めた要員の削減、余力人員の発生に伴う出向先の確保、早期退職制度、退職前提退職制度の活用など、貨物職場に働く労働者の首切り⇨貨物七千人体制へ向けた本格的な攻撃を開始しようとしている。

貨物七千人体制粉碎! 日貨労解体・一掃へ!

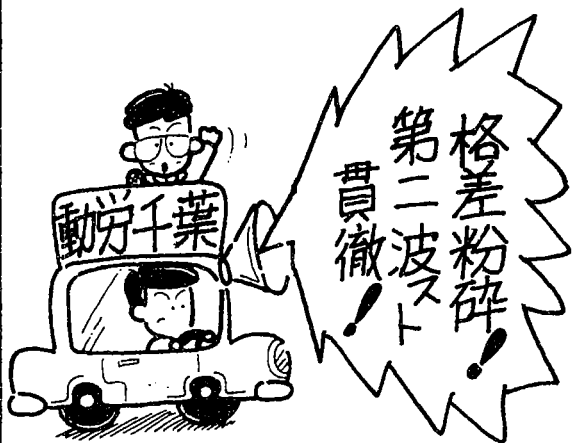
一方、JR総連革マルは、こうした貨物労働者に対する資本の攻撃が行なわれようとし、職場に労働者の怒りが渦巻いているその時に、またしても貨物労働者に対する差別的格差を要求したのである。

春闘要求において五・八六% (東日本は六%) という全く許せない要求を行っているのである。

同じ組合員でありながら旅客と貨物で格差があつて当然とばかりにこうした格差要求を行い、平然としている日貨労を絶対に許すことはできない。

貨物職場に渦巻く怒りを結集しJR総連革マル⇨日貨労を解体・一掃しよう。

新小岩、佐倉両支部を先頭に貨物格差粉碎の春闘第二波ストに立ち上がろう。全支部から貨物支部に結集しよう!



●春闘第二波ストの戦術配置について●

1. 貨物の回答予定日に、新小岩機関区、佐倉機関区の、地上勤務者を対象とした、13時以降の時限ストライキを実施する。
2. スト当日、13時から、新小岩地区、佐倉地区において「96春闘勝利! 第二波スト貫徹! 動労千葉総決起集会」を開催する。
3. 各支部の結集体制 (勤務者以外の組合員は、全力で結集すること)
[新小岩] ー津田沼・京葉・木更津・館山・鴨川・いすみ
[佐倉] ー幕張・千葉転・総武・成田・銚子